

ヒットエア付ジャケットの各名称・形状



※デザイン、形状等は異なる場合があります

9

24

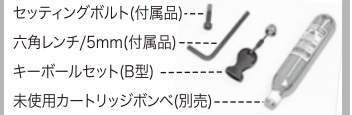
1.再生に必要な工具を準備します(写真1)

未使用のカートリッジポンペと再生に必要な工具の六角レンチとセッティングボルトを準備します。

注意 ⚠ カートリッジポンペはジャケット指定のサイズをご使用下さい。

写真1

再生に必要な工具を準備します



2.キーボックスにセッティングボルトを差し込みます(写真3)

キーボックスの下面にある穴にセッティングボルトを差し込み、手で締めます。きつくなったら六角レンチをご使用下さい。(ボルトを締めるとキーボールの穴が下へ移動します)

写真2



写真3



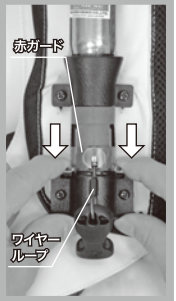
3.六角レンチでキーボールの穴が中心にくるよう調節します(写真4)

徐々に締めていき内側の金属穴を外側穴の中心に来るように調節します。キーボールの穴が中心に来たら、キーボールをセットします。

写真4



写真5



4.キーボールをセットします(写真5)

キーボールのリングを穴に深く押し込みます。リングと穴を平行にセットします。うまく入らない場合は、セッティングボルトを緩めたりリングを爪で押し込んだりします。

5.赤ガード(スライドカバー)でキーボールが正しくセットされたかを確認します(写真6)

キーボールのワイヤーループを下に向け、赤ガードを下にスライドさせます。スムーズに下にスライド出来ればセット完了です。下にスライド出来ない場合は、キーボールが正しくセットされていないので、再度、セッティングボルトを緩めたりリングを爪で押し込んで正しくセットして下さい

次ページへ

26

11

4-2 気室

1. 気室の素材は、高圧のポリウレタンフォームを使用し、より強度をもたせ、作動時の衝撃を出来るだけ多く吸収するようにしてあります。
2. 通常、作動した瞬間の気室の圧力は、最大膨張時30kpa(0.3kg/cm²)程度ですが、徐々にガスが放出され、圧力はさかたいていく様になっています。
3. 炭酸ガス(CO₂)はキーボックスからエアークロウを通り各気室(ポリウレタンフォーム)に送り込まれます。
4. 破損等に対する強度は、ウエアの素材、ポリウレタンフォームの形状、強度、摩擦等によっても変わります。また、接触する物の形状、接触する物の形状、強度、摩擦等によっても変わります。
5. ヒットエアは、衝撃によるダメージを少しでも和らげるために作られたものであり、接触物の形状及び、衝撃の度合いにより、破損等も考えられます。

1. 「一定の距離」離れた瞬間作動し、エアリリース(気室)に炭酸ガスを送り込み膨らみます。最大限に膨らむまでにも、衝撃を緩和する効果があります。
2. 胸部にあるカートリッジポンペ及び、キーボックスの背面部分には、アブソブトABS製フロクタクが取り付けられております。
3. 作動後、最大限に膨らんだエアリリース(気室)は、徐々にガスが抜ける仕組みになっています。アブソブトの衝撃度合いなどにより変わりますが、作動直後に身体への圧迫がありますが、徐々にガスが抜けて圧迫がなくなっていくきます。息苦しい場合は、脱衣して圧迫を解消して下さい。
4. ヒットエアシステム及びウエアの生地、気室、エアリリースシステムなどが傷ついたり、破損した場合は、正常な作動をしません。取扱店にご相談下さい。再生できない場合があります。
5. 事故などで作動し、破損等が原因でない場合でも取扱店、又は当方にて再生して下さい。
6. 胸部に膨らんだエアリリース(気室)は、徐々にガスが抜ける仕組みになっています。アブソブトの衝撃度合いなどにより変わりますが、作動直後に身体への圧迫がありますが、徐々にガスが抜けて圧迫がなくなっていくきます。息苦しい場合は、脱衣して圧迫を解消して下さい。
7. 作動の際、外傷の出来たヒットエアは、取扱店や当方メンテナンスショップの上、カートリッジポンペは、ジャケット指定のサイズ(容量)で未使用のカートリッジポンペである事を確認する。
8. ウーリクなど一度作動したヒットエア付ジャケットを、やむをえずお客様が再生させる場合は、以下の点に注意して下さい。

1. ヒットエア付ジャケットは、特に首を保護するため、膨らんだ際首周りに圧力がかかります。そのため、着用しているヘルメットのあごひもも取れにくくなる場合がありますが、その際はバックル等を外して下さい。
2. 現場の状況に合わせて慌てずに、脱衣して下さい。
3. 事故等により現場が危険な場合、安全な場所へ避難してから脱衣して下さい。
4. 瞬時に膨らんだヒットエア付ジャケットは、身体に多少の圧力がかかりますが、徐々に膨らんだ状態が車面には挟まれたり、圧迫をうける状態になっても落ち書いて行動して下さい。
5. 膨らんだ気室が、大きな衝撃や鋭利な障害物により破損した場合は、気室前部の炭酸ガスが直ぐに抜け落ちてしまいます。
6. 走行中において何らかの原因により誤って作動してしまった場合は、慌てず、やかに安全な場所へバックルを移動し、ヒットエア付ジャケットを脱衣して下さい。そのまま走り続けると、膨らんだ気室等によって大きな風圧を受け、不安定な状態となり大変危険です。
7. 作動の際、外傷の出来たヒットエアは、取扱店や当方メンテナンスショップの上、カートリッジポンペは、ジャケット指定のサイズ(容量)で未使用のカートリッジポンペである事を確認する。
8. ウーリクなど一度作動したヒットエア付ジャケットを、やむをえずお客様が再生させる場合は、以下の点に注意して下さい。

着用したヒットエア付ジャケットが作動し膨らんだ状態になった場合、以下の点に注意して下さい。

6 作動時及び、作動後の注意

9

4-1 機能

4 構造

4